

メッセージ： 栄光の王

OIC のみなさん、おはようございます。ようこそ父なる神の家、OIC へ来られました。
皆様を歓迎いたします。

私はこのメッセージのタイトルを 「栄光の王 」 としました。ヘンデルが有名なオラトリオ『メサイア』の中で書いたように、「栄光の王とは誰か？」です。ヘンデルはその答えを知っていました。彼はイエス様のためにあの輝かしい音楽を書いたのです。ヘンデルは<詩篇 24 篇 8 節>に心のひらめきを与えられました。

「栄光の王とは誰か？」と問いかけます。その答えはイエス様です。

主イエス様の地上への最初の訪問は、肉体を持った神様を明らかにしました。これは人々を救うための犠牲であり、罪人に与えられた神様の言葉で言い尽くせない憐れみのためでありました。この罪人に対する憐れみは、イエス様が十字架上でご自分を十字架につけようとされている人々への祈りにあります、

<ルカの福音書 23 章 34 節>

その時、イエスはこう言われました。「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、自分たちが何をしているのかわかっていないのです。」

イエス様の天の父なる神様への祈りは、私たちの罪がイエス様を十字架に釘付けにしたとき、まるで私たちがイエス様の手首や脚に釘を打つハンマーを振っているかのように、本当に私やあなたのためにイエス様は十字架にかかれたのです。！

<ヨハネの黙示録 11 章 15 節-16 節>にあるように、この穏やかで人々を許される同じイエス様は、全人類の支配者であり裁判官としてこの地上に再臨されます。

15第七の天使がラッパを吹き鳴らすと、天から大きな声が響きました。「世界はすべて、主とキリストの手に渡った。主は永遠に支配者である。」

16すると、神の前の席にいた二十四人の長老が、地にひれ伏して礼拝し、声をそろえて神を賛美しました。

そして、<ヨハネの黙示録 19 章 11 節-16 節>

11 それから天が開かれ、私は、そこに白い馬を見ました。その馬に乗っているのは、「忠実、また真実」と呼ばれ、正しいさばきをし、戦いをなさる方です。

12 目は炎のように輝き、頭にはたくさんの冠をかぶっていました。額には名前が記されていましたが、その意味を知っているのはご自分だけでした。

13 この方は血に染まった衣を着ていて、「神のことば」という名で呼ばれました。

14 天の軍勢はきよく真っ白な麻布を身につけ、白馬にまたがって彼に従いました。

15 この方は、諸国の民を打つために、鋭い剣をくわえておられました。そして、鉄のような手で、国々を完全に支配なさり、また、全能の神の激しい怒りに満たされた酒ぶねを踏まれます。

16 その衣とももには、「王の王、主の主」という名が記されていました。

歴史の終わりに、イエス・キリストは「すべての王の王、すべての主の主」として全世界に啓示されます。イエス様を信じて新しく生まれ変わったクリスチャンは、すでにイエス様を自分たちの王としています。イエス様は神様と同等であられるので、イエス様を信じて新しく生まれ変わったクリスチャンはイエス様を主と呼びます。天の父なる神様は、永遠の昔から御子イエス様に主でありキリストであるという新しい称号と権威をお与えになりました。西暦 30 年 {Anno Domini、神様の 30 年} のことです。そのペンテコステ（聖霊降臨祭）の日曜日に、ペテロはエルサレムのユダヤ人たちにこう宣言しました。神様はクリスチャンに聖霊なる神様を注がれたばかりでられました。このペンテコステ（聖霊降臨祭）の日は、神学者たちによって「教会の誕生」と呼ばれています。ペンテコステ（聖霊降臨祭）は、復活の初穂の祭り（小麦の収穫を含む）とも呼ばれています。神様はこの日、教会へ聖霊なる神様を注がれることを計画されました。ペンテコステ（聖霊降臨祭）はいつも過越の祭りの 50 日後に行われました。この聖霊なる神様が注がれたペンテコステ（聖霊降臨祭）は、イエス様が十字架につけられた時の過越の祭りの 50 日後でありました。

神様の御霊なる聖霊なる神様は、キリストを証しする力と、キリストのために生きる実りをもたらしてください。イエス様は弟子たちに、福音を地の果てまで伝えるというイエス様の大宣教命令に従う前に、この「教会の誕生」と呼ばれる聖霊なる神様が一人一人に注がれるのを待つように命じられました。この出来事は<使徒の働き 1 章 4 節-5 節>にあります。

4 そんなある時のことです。イエスは使徒たちに、こうお命じになりました。「エルサレムから離れてはいけません。前にも言ったように、父が約束を果たしてくださるまで、待っていなさい。

5 バプテスマのヨハネは水でバプテスマ（洗礼）を授けましたが、もうすぐ、あなたがたは聖霊によるバプテスマを受けるからです。」

<使徒の働き 4 章 36 節>には、イエス様の公の称号である「主」と「キリスト」が記されています：)

ですから、イスラエルのすべての人に、はっきり言うておきます。神様が主とし、キリスト（ギリシャ語で、救い主）とされたイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。

クリスチャンは、この世の肉体を離れるとき、栄光のイエス様を見ることが約束されています。イエス様は<ヨハネの福音書 14 章 2 節>でクリスチャンに約束されたからです。

父の住んでおられる所には、家がたくさんあります。もしなかったら、はっきり言うておいたでしょう。わたしは、あなたがたを迎える家を準備しに行くのです。

すべてのクリスチャンは皆、その内に神様の霊であられる聖霊様を与えられているのです。すでに神様の栄光を味わっています。私たちは詩篇 24 篇に、メシアであるキリストについての預言的な言葉をいくつか見ることができます。この詩篇 24 篇は紀元前（イエス様が地上に生まれる前）1000 年頃、ダビデ王によって書かれました。

<詩篇 24 篇 7 節-10 節>

7 古くからある門よ、開け。 栄光の王をお通しせよ。

8 栄光の王とはだれか。 強くたくましく、 戦いで負けることのない王です。

9 門を開け放ち、 栄光の王をお迎えせよ。

10 栄光の王とはだれか。 それは、天の軍勢の主なのです。

イエス様は地とすべての民を裁くために、時の終わりに目に見える大いなる栄光のうちに再臨されます。しかし、「栄光の王」というイエス様の称号は、この世全てを治められる王として再臨される前からふさわしいものでした。イエス様の最大のこの地上の征服と勝利は、イエス様の最初の地球訪問のときでした。<詩篇 24 篇 7 節>の言葉にあるように、イエス様が天に帰られるということは栄光の王としてのイエス様の御名があるのです。：

古くからある門よ、開け。 栄光の王をお通しせよ。

詩編 24 篇は、紀元前 1000 年にイエス様が将来天に帰られると宣言していました。このイエス様が天に帰られるということは、イエス様が血を流され十字架の上で私たちの罪のために死なれたという使命を全うした後のことです。そしてまた<詩編 24 篇 8 節-10 節>に

8 栄光の王とはだれか。強くたくましく、戦いで負けることのない王です。

9 門を開け放ち、栄光の王をお迎えせよ。

10 栄光の王とはだれか。それは、天の軍勢の主なのです。

新約聖書もまた、次のように宣言しています。

<ヘブル人への手紙 2 章 9 節>

しかし、しばらくの間、天使よりも低くされ、私たちのために死の苦しみを味わうことによって、**栄光と誉れの冠を受けられたイエス**を見えています。イエスは、神の大いなる恵みのゆえに全人類のために死なれたのです。

そうです、神様の恵みによって、イエス様はすべての人のために死を味わわれたのです。イエス様は人々の救いのための完璧な代価の血の犠牲として、私たちのために死を受けられ、地球での使命を終えられました。だから<詩篇 24 篇 9 節>のように

門を開け放ち、**栄光の王**をお迎えせよ。

また、<使徒の働き 1 章 9 節-11 節>にあるように

9 こうお答えになると、イエスは、見守る使徒たちの目の前で天に上げられ、たちまち雲の中に姿を消されました。

10 彼らがなおも目をこらして見上げていると、突然、白い衣を着た人が二人、そばに立って言いました。

11 “「ガリラヤの人たちよ。なぜ空ばかり見上げているのですか。イエスは天にのぼりましたが、いつかまた、今と同じようにして地上へ帰って来られるのです。」

クリスチャンは、今日、イエス様を心の王、栄光の王としているように、イエス様の肉体的な栄光を見る必要はありません！ クリスチャンは、イエス様が 1) 自分たちのために、2) 自分たちの中で、3) 自分たちによって、そのような不思議を起こされたことを知っているからです。

1. 「栄光の王とは誰か？クリスチャンのためのイエス様

<詩篇 24 篇 8 節>

栄光の王とはだれか。強くたくましく、戦いで負けることのない王です。

主イエス様はカルバリの十字架の上で、あらゆる敵を打ち負かし、敵の武器をすべて粉々に砕かれました。＜イザヤ書 54 章 17 節＞にある神様の約束を完全に成就されました。

しかし、やがて来る日には、あなたに向けられるどんな武器も役に立たなくなり、法廷でどんなに偽証がなされようと、あなたは正しいと認められるようになる。これが、主のしもべの特権であり、わたしからの祝福だ。」 こう主は語ります。

だからイエス様は十字架上での戦いでは無敵でした。

＜ヨハネの福音書19章30節＞

それをお受けになると、最後に、「すべて成し遂げた」とひとこと叫び、頭を垂れて息を引きとられたのです。」

イエス様は「すべて成し遂げた」と言われました。そして、イエス様は頭を下げ、イエス様の霊を天の父なる神様に捧げました。イエス様はクリスチャンの天国の家を指し示しました。イエス様は、エルサレムで一般的なギリシャ語の表現である「*tetelestai* テテレスタイ」を話されたからです。＜ヨハネの福音書 19 章 30 節＞

この日常的な表現は、当時の不動産ビジネスで使われていました。それは単に「住宅ローンが完済された！」……天国にある私たちの家、というような意味でした。

イエス様は十字架につけられてから3日目に、死の墓に勝利されました。イエス様はいつも、始められたこと、約束されたことを成し遂げられます。＜マタイの福音書 16 章 16 節＞で

シモン・ペテロが答えました。「あなたこそキリスト（ギリシャ語で、救い主）です。生ける神の子です。

とペテロが叫んだ日、主はご自分の将来の苦しみと受難を使徒たちに初めて明かされました。そして、イエス様の教えておられる同じ時、弟子達とともに＜マタイの福音書 16 章 21 節＞で

その時からイエス様は、ご自分がエルサレムに行くことと、そこでご自分の身に起こること、すなわち、ユダヤ人の指導者たちの手でひどく苦しめられ、殺され、そして三日目に復活することを、はっきり弟子たちに話し始められました。

イエス様の死から勝利の復活は、神様が御子イエス様の犠牲を受け入れられたことを示していました。イエス様の十字架の贖いによって、人類の罪に対する神様の怒りは鎮められ

ました。今や死はサタンの武器ではありません。クリスチャンには永遠の命があり、クリスチャン自身の死からの復活はイエス様と同じくらい確かなものです。

使徒パウロが<コリント人への手紙1 15章20節-23節>で書いているように

20 しかし、事実、キリストは死者の中から復活しました。そして、復活が約束されているすべての人の初穂（その年の収穫の最初の束）となられたのです。

21 一人の人（アダム）の行為によって、死がこの世に入って来ました。そして、このもう一人の人（キリスト）の行為によって、死者の復活が入って来たのです。

22 罪深いアダムにあってすべての人が死んでいるように、キリストによってすべての人が生かされるのです。

23 ただし、その順番があります。最初にキリストが復活なさいました。次に、キリストが帰って来られる時に、キリストに属する全員が復活します。

それゆえ、栄光の王であるイエス様は、地獄へ行く苦しみを覆してくださいました！

また、イエス様は天に戻られることによって、サタンの捕虜になっていた者達をご自分のところに導かれました。

パウロは次のように語っています。

<エペソ人への手紙4章8節>

聖書の詩篇の作者は、こう言っています。「（キリストは）復活してサタンに打ち勝ち、勝利を得て天に帰られた時、人々に惜しみなく賜物をお与えになった。

<コロサイ人への手紙2.章13節-16節>で宣言されているように、私たちの霊的な敵であるサタンとその使者をすべて見せしめたのである。

13 あなたがたは、以前は罪の中で死んでいましたが、神は、そんなあなたがたをキリストと共に生かしてくださいました。それは、すべての罪を赦し、

14 神の定めに従ったことが記されているあなたがたに不利な証書を、塗りつぶしてしまわれたからです。この罪の証書は、キリストの十字架と共に釘づけにされて無効となったのです。

15 こうして神は、罪を犯したあなたがたを責め立てるサタンの力をくじかれました。そして、十字架上でのキリストの勝利を、公然と示されたのです。この十字架によって、罪はすべて取り除かれました。

サタンが私たちに放ったかもしれない罪の矢は、ことごとく打ち砕かれました。誰が神様の選民の罪を問うことができるのでしょうか？イエス様の教会が守ってくださいます。地獄や地獄の悪意の鋭い剣はむなしいです。蛇の子孫 {サタンに従う者たち} のクリスチャンに対する永遠の戦いは、失敗に終わるでしょう！教会の中で、イエス様のために最も弱い戦士たちが冠をうけれるのですから！

<詩編 24 篇 8 節>

主の山に登り、主の住まいに入ることのできる者はだれか。主の前に立つことのできる者はだれか。

2. 「栄光の王とは誰か？」クリスチャンの中のイエス様

栄光の王であるイエス様の征服は、クリスチャンのためであり、クリスチャンの外敵に対するものでありました。しかし、王なるイエス様は内部的にも征服しました。「クリスチャンのため」の栄光の王に加え、イエス様を信じて新しく生まれ変わって救われたクリスチャンもまた、栄光の王であるイエス様を慕うでしょう。なぜなら「自分達の中で」イエス様は悪に征服されたからです。

クリスチャンの自然な憎しみの矢は折れています。クリスチャンの反乱の武器は壊れています。恵みは私たちの邪悪な心にどんな勝利をもたらしたのでしょうか！邪悪な意志が制圧され、罪が退けられるとき、イエス様はどれほど栄光に輝くことでしょうか！私たちの残りの腐敗についても、同様に確実に敗北を免れないでしょう。あらゆる誘惑も、疑いも、恐れも、完全に打ち砕かれるでしょう。私たちの心の平和な場所において、イエス様の名は比べるものがありません。

イエス様は私たちの愛を勝ち取り、その愛を身にまとわれます。

3. 「栄光の王とは誰か？」クリスチャンによるイエス様

イエス様はクリスチャンのために、クリスチャンの中で、そしてクリスチャンによってこの世界で働かれます。<ローマ人への手紙 8 章 37 節>にあります。

しかし、こうした中であつても私たちは、いのちを投げ出してまで私たちを愛してくださったキリストによって、圧倒的な罪からの勝利を得るのです。

私たちは、信仰と熱意と聖さによって、世にある暗闇の力を打ち砕きます。私たちは罪人をイエス様に引き合わせます。私たちは偽りの体制と異端を覆します。私達は国々をイエ

ス様を信じ救われるように改めさます！神様は私たちとともにおられ、私たちの前に立ち
はだかる者はいません。

使徒パウロが聖書の中で次のように神様の約束を語っています。

<コリント人への手紙2 2章14節>

しかし、神に感謝します。神様は、キリストの働きのゆえに、私たちを勝利の行進に加え
てくださいました。今、神様は私たちを通して、キリストの福音の香りを放ってください
ます。

ここでパウロはクリスチャン、特に説教者について語っています。それは「宣教」する
者、つまり「イエス様の福音」を伝える者のことです：

イエス様は私たちをイエス様の者となさいました。これは<エペソ人への手紙4章8節>
とは異なります。

聖書の詩篇の作者は、こう言っています。「(キリストは)復活してサタンに打ち勝ち、
勝利を得て天に帰られた時、人々に惜しみなく賜物をお与えになった。」(詩篇68・
18)

どんな罪人でもイエス様を信じるようになると、神様に対する敵からイエス様に仕える愛
の仕える人になります。神様はイエス様の十字架によって悪魔と悪魔の使者を辱められま
した。神様はイエス様の十字架を、罪人に神様の子となるという贈り物を与えるための手
段とされました！恥辱と辱めから解放されます。それはまさに死から生への道です！

親愛なる OIC の聖徒の皆さん、私たちの栄光の王であるイエス様のために仕えることは、
今日教会の建物を出たところから始まります。私たちは、今皆立ち上がり、栄光の王に向
かって喜びの声を上げ、頭上に映し出された『オンワード・クリスチャン・ソルジャー
ズ』を共に歌いましょう！

オンワード・クリスチャン・ソルジャーズ<要約>

前進するクリスチャン戦士

1 前進するクリスチャン戦士

戦いへの行進、

イエス様の十字架とともに

以前から続いている。

王の主キリスト

敵に立ち向かう、
戦いに向かう、
ご覧なさい、イエス様の旗が行く。
前進するクリスチャン戦士
戦いへの行進、
イエス様の十字架とともに
以前から続いている

2 勝利のサイン

サタンの軍勢は逃げ去る；
それではクリスチャンの戦士達、
勝利に向かって。
地獄の土台が震える
讃美の叫びで；
兄弟たちよ、声を上げろ、
大きな声で讃歌を響かせる。
前進するクリスチャン戦士
戦いへの行進、
イエス様の十字架とともに
以前から続いている

3 強大な軍隊のように

神の教会を動かす；
兄弟たちよ、私たちは足踏みをしている。
聖人が歩いた場所
私たちは分断されていない、
私たちの体はひとつ、
希望と信仰の基盤において1つ、
愛の奉仕活動で1つ。
前進するクリスチャン戦士、
戦いへの行進、
イエス様の十字架とともに
以前から続いている。

4 地の王冠と王座は滅びるかもしれない、
地の王国は興り、衰える
しかし、イエス様の教会は
不変のままである；
地獄の門は決して開くことができない
教会が勝利する
私たちにはキリスト自身の約束がある。
そして、そのキリストの約束は絶対に失敗しない。
前進するクリスチャン戦士、
戦いへの行進、
イエス様の十字架とともに
以前から続いている。

5 クリスチャン達、前へ進め、
私たちの幸せな群れに加わろう、
私たちの声と調和させる
勝利の歌の中で；
栄光、称賛、名誉、
王なるキリストへ
数え切れないほどの時代を経て
人間と天使が歌う
前進するクリスチャン戦士、
戦いへの行進、
イエス様の十字架とともに
以前から続いている。

そうです！…… イエス様の十字架を前にして……。…
祈りましょう